

総合戦略を柱とした人口減少対策について問う

子育て支援住宅と共に分譲政策を積極的に進める



中山 美幸 議員

分譲政策を進める

町長

町長は、人口減少対策・産業の活性化・健康増進対策を挙げられ、中でも27年度ユーマンションと年間1377万8千円で20年のリース契約をされた「なのはなタウン」の成果を強調された。しかし、この住宅は、子どものいる世帯が同居条件であり、子どもが高校卒業と共に退去しなくてはならず、一次的な事で定住にはつながらないと思う。そこで持続的に大崎町をふるさととして暮らして住むを進める考えはないか。



入居の始まった「なのはなタウン」

コンパクトシティーを目指す

中山議員

今後BTO方式※による文化通り2号住宅の計画があるようだが、この特定目的会社による住宅運営に留意すべき点多くあるので十分注意していただきたい。また、街づくりにおいては、高齢化に伴う買い物、通学の問題、本町の負担となると思われる下水道の問題などを考慮すると、生活者にとって利便性のあるコンパクトな街づくりが必要であると思うがどう考えるか。

十分考えて進める

町長

住宅政策については、病院があり、公共施設があり、子育て環境が充実した環境の中でコンパクトな街づくりを進めようと考えている。そのためには眠っている民有地の活用も視野に入れながら実施する。

人口ビジョンとビジョンに対する政策を示せ

中山議員

本町は2020年度1万2185人、2030年には、1万人を切る予想であるが、現在までの各研究所の予測は当たっているか。本町の予測と人口減に対する政策を示せ。

平成32年度1万2777人が目標

町長

平成23年度から平成27年度5年間で年間出生96・4人、死亡218・4人で減少の要因は高齢化による死亡が大きな要因であり、人口減少は予断を許さない状況である。住宅政策・企業誘致・移住体験・農業法人等への就労・婚活等により、2020年度1万2777人、2060年度1万人を目標

三文字地区防災対策 請願に対する対策を示せ

中山議員

先般提出した三文字地区防災対策に対する請願では、調整池の設置・防犯灯・消火栓設置等が求められていたが、この請願に対する動きは1年間何も無い。500名余りの署名を町長はどう考えているか、また首長として1万3000人の命と財産を守る義務があると思うがどう考えるか。

雨水等の流量調査後 国県の助成を受け 対処する

町長

時間雨量148ミリの豪雨により三文字地区・神領地区に床下、床上浸水が発生したが関係部局、担当課長、担当係が集まり協議し、その検討はすぐとやってきた。本年度は流量調査等を実施し国・県の補助事業に該当したら実施する。

いつまでに事業計画を策定するのか

中山議員

1年たっても国・県の補助事業は見つからないのか。検討しているとのことだがいつまでに計画を策定するのか。

平成28年度中には 事業計画を策定する

町長

浸水被害を受けた地域住民の暮らしを守る、住宅を守る、自分の暮らしを守ることは当然である。三文字地区に流れ込む雨水の調査を実施し平成28年度中には計画を策定する。



浸水した町道

※BTO方式とは…BTO (Build Transfer Operate) の略。民間事業者が施設等を建設し、施設完成直後に公共施設等の管理者等に所有権を移転し、民間事業者が維持・管理及び運営を行う事業方式。